



法木 昭一
市民連合
(70分)

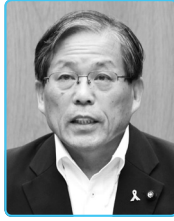
登下校中の事故防止対策などは

問 小・中・高等学校における登下校中の事故防止対策と自転車の安全対策は。

答 登下校中の事故防止対策は通学路交通安全プログラムに基づき、地域を含む関係者による合同点検で危険箇所を洗い出し、改善につなげている。また、地域のポ

ランティアによる各種見守り活動交通指導員による毎朝の交通指導学校での交通安全教室などにより事故防止に努めている。

自転車の安全対策は、警察をはじめとする関係機関と連携する中で、小学校では自転車の乗り方指導を中心に、また、中学校、高校では自転車の交通安全指導を中心とした交通安全教室を実施している。その他自転車利用者対策事業として、主に下校中の中・高校生を対象とした街頭啓発活動も実施している。



西本 章
市民連合
(75分)

災害対策は

問 災害時における避難準備情報等の発令時に、自主避難が困難な方への対応と、避難行動要支援者が安全に避難できる体制づくりは。

答 本市では、これまで自助、共助、公助の役割分担と連携を基に防災対策に取り組んできた。

こうした中、災害時に自主避難が難しい高齢者、障がい者などの避難対策として、市が提供した情報を基に避難行動要支援者ごとの避難支援プランの作成や、地域の支援対策を学区・地区防災(避難)計画に盛り込むなど、共助の取り組みとして進めるよう地域にお願いしている。

避難行動要支援者の情報は、消防局など関係機関とも共有するなど支援体制の整備に努めており、引き続き、地域と連携しながら避難行動要支援者が安全に避難できる体制づくりに努める。



土屋 知紀
日本共産党
(45分)

鞆町の歴史的まちづくりに万全の体制を

問 市は国に対し鞆町の重要伝統的建造物群保存地区選定の申請をした。今後、歴史的建造物の修理、修景等万全な保存整備の推進体制として古建築の専門家を常駐させ、指導、助言を行う必要があるのでは。

また、*ヘリテージマネージャーの資格者の配置や、専門のプロジェクトチームを置いて推進することも必要ではないか。

答 全国に誇れる鞆の町並み保存事業は、鞆の特性を生かせるよう修理・修景基準に従い、設計、施工を行う必要がある。引き続き市伝統的建造物群保存地区保存審議会等との連携を図り、専門的な見地での指導、助言を得るとともに、整備推進体制について検討していく。



村井 明美
日本共産党
(100分)

水道事業は直営を堅持し安心・安全な事業運営を

問 県知事は、水道事業を全国的に統合していく方針だが、本市では今後の広域化や民間委託は行わないことを強く求める。

答 市の行政運営方針に基づき公共性を踏まえ、経済性を見極める中で可能な業務は民間の活力を

活用する。また、水道事業の広域連携については、メリット、デメリットを十分議論する必要がある。

就学援助入学支度金の早期支給を

問 子どもの貧困が社会問題となる中、就学援助の入学支度金は、前年度内に支給すること。

答 現在、支払時期は6月末だが、制服等を準備するための費用は入学前に必要であることから他の中核市や県内市町の状況も参考にし、早い段階で実施できるように検討を行っている。

*ヘリテージマネージャー：地域に眠る歴史的文化遺産を発見、保存、活用し、まちづくりに生かす能力を持った人材。